

## ～「やおいちゃん」と商店街による活性化事業～

商店街キャラクターの“やおいちゃん”を活用して親しみやすさを演出し、季節ごとのイベントを開催するとともに、商店街内のコミュニティサロンを各種教室のほかオープンカフェやこどもの居場所として活用、地域コミュニティの構築・強化を通じて商店街の利用度向上を目指した。

所在地：京都府京都市北区大宮東総門口町39  
シャトルさわだ1F  
TEL：075-493-3733 FAX：075-493-3733  
URL：<http://www.kics.gr.jp/kita/801office/>  
組合員数：69名  
商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

当商店街は、京都市内で最も北に位置し、上賀茂神社の参道の要所でもある、飲食、食品、生活雑貨等が中心の全長800メートルの地域型商店街。付近には大学が多く、大学生と連携して活性化事業に取り組んでいる。近年、少子高齢化等により来街者が減少し、賑わいなくなってきたことが問題であった。そこで全国的知名度のあるキャラクターで集客を促したイベントの実施のほか、商店街内のコミュニティサロンの活用をさらにすすめることで、積極的な商店街活動をアピールして全世代の来街を促進し活性化を図った。



## 実施した事業の概要

## ①七夕ピアガーデン

街路灯や交差点に設置した笹に保育園児や小学生が願い事を書いた短冊を飾って商店街全域で七夕の雰囲気盛り上げ、801広場前で東北物産によるピアガーデンを開催した。昼は大学の落研とプロによる落語会も開催した。プロとアマの落語を同時に楽しめるといふ商店街ならではのイベントで好評を博し、商店街活動をアピールすることができた。

## ②みその橋801フェスティバル

商店街の道路を車両通行止めにして、小・中・高・大学生の音楽、ダンスなどの発表を行うイベントで、昭和61年から継続しており地域住民に親しまれている。今回は新たに組合員、大学生、地域住民の参加で大人の三輪車駅伝大会を開催し商店街は笑い声であふれた。地域住民との関わりをより密にすることで防災時等に必要な地域の連携を強めることができた。

## ③高齢者・子供達が集うコミュニティサロン801広場

近接する大学の学生や各種団体と連携して、商店街内のコミュニティスペースである801広場に地域住民の交流の場を設けた。高齢者の孤独感をなくす等の目的で囲碁や習字等の各種教室を開講した他、オープンカフェで利用者が自由に飲み物を持ち込んでくつろげる場を提供。「こどもの居場所」では教職志望の学生が放課後の小学生の支援をして保護者に喜ばれるなど、地域住民と商店街との交流が進みコミュニティ強化につながった。



## 成果と成功の要因



今回の事業で、商店街が有する地域コミュニティの中核としての役割が一層強化され、地域住民の利用度向上と商店街の賑わい創出につながった。また、30年近く継続してきた「みその橋801フェスティバル」は、地域に根ざし、市北部を代表するお祭りとして定着している。このように商店街が地域コミュニティの担い手としての役割を確立しつつあるのは、イベントの継続により、保育園から大学、公共機関、おやじの会といった地元の諸団体との連携が年々強化されていることによるものである。これにより地域住民とのコミュニケーションもますます緊密なものとなり、良い循環ができていていると感じている。

## 今後の取り組み

今回実施した事業は、地域の人々に親しまれているイベントを充実させて開催したものである。今後はマンネリとならない工夫を重ね、より広い地域から人々が集まるものに成長させ、地域コミュニティの担い手としての役割を高めたいと考えている。協力してもらっている大学等では卒業生から在校生への送りりができており、周囲の期待も大きい。資金については、組合の活性化事業費の予算内で事業運営を実施する予定で、地域団体・住民との連携も一層深めて効率の良い運営を目指していく。